

令和5年度 中南の社会教育

令和6年3月15日発行

子ども・担当者のために
中南教育事務所
学校・地域の応援隊

各市町村教育委員会が掲げている「社会教育行政の方針と重点」のもと、令和5年度も様々な事業が実施されました。コロナ禍が明け、通常どおりに事業が実施されるようになった様子を伺い、活気が戻ってきたと実感することができました。



今年度の社会教育の教育委員会訪問でご紹介いただいた「オススメの事業」の中から、各市町村の事業をいくつかご紹介します。 中南教育事務所 主任社会教育主事 秋谷 啓児

弘前市「市民講座『にほんご教室』【令和5年9月20日(水)】

「お箸の使い方～お箸のマナーを学ぶ」をテーマに、「にほんご教室」が開催され、アメリカ人やバングラデシュ人、マレーシア人など弘前市在住の日本人を含む8か国の方々に参加しました。

講座は、「日本のお箸について」「ゲーム&工作」「韓国と中国のお箸について」の内容で構成されており、工作では説明書を参考に、折り鶴など飾りのついた「箸置き」を楽しそうに作っていました。

参加者の中には、箸を使うのが得意な外国人が日本人に教える姿が見られるなど、温かい雰囲気の中で異文化交流が行われていました。



黒石市「銀河宇宙探検隊『みんなでお月見』【令和5年9月29日(金)】

黒石市銀河宇宙探検隊として「みんなでお月見」が開催され、黒石市内の小学生10名、中学生4名、高校生2名が参加しました。

会場の六郷公民館内で、黒石すばるの会の方から星座に関する講義を受けた後、駐車場に集合し、「仲秋の名月」や「夜空に浮かぶ星座や惑星」を堪能しました。

当日は天気が良く、土星の観測もすることができました。天体望遠鏡で「土星の輪」を肉眼で観測することができ、参加者から「土星の輪がはっきり見える、すごい！」と感嘆の声が上がっていました。



観測後は「串団子」を堪能し、笑顔のお月見会となりました。

平川市「わくわく平川教室『遊びリンピック』【令和5年9月2日(土)】

わくわく平川教室として「遊びリンピック」が開催され、平川市内の小学1～6年生35名が参加しました。遊びリンピックでは、「ビーンボウリング」「フライングディスク」「スリッパ飛ばし」の3種目が行われ、高得点を目指し、真剣な眼差しで競技に取り組んでいました。

3種目ともスタートラインが学年ごとに設定されており、どの学年の児童も楽しむことができるような工夫がされていました。競技中は、5・6年生の児童が低学年児童のお世話をしたり、係員のお手伝いをしたりしながら参加する姿が随所に見られました。






西目村屋「冬季ふれあいスポーツ教室『エアロボクシング』【令和6年2月2日(金)】

冬季ふれあいスポーツ教室として「エアロボクシング」が開催され、小学4年生以上の児童生徒及び一般の方を含め14名が参加しました。

準備運動に始まり、「基本の運動」や「スパーリング(柔らかい棒を使用)」などを行いました。講師のチャンプスポーツボクシングクラブ兼平さんの明るく、分かりやすい指導に乗せられながら、参加者は自分のペースで楽しく汗を流していました。

それぞれの運動に合わせた音楽を会場に流すなど、雰囲気づくりも考慮された内容となっていました。






藤崎町「腸からキレイに超発酵料理講座1・2【令和5年10月1日(日)・15日(日)】

藤崎町公民館講座として「腸からキレイに超発酵料理講座1・2」が開催され、それぞれの講座に町内から9名が参加しました。

講座1(10/1)では、腸に関する講義の後、「発酵美人になる塩糀と醤油糀」を作りました。発酵のためにかき混ぜる塩糀とかき混ぜない醤油糀と、完成までに違いがあることを知り、参加者は驚いていました。

講座2(10/15)では、塩糀や醤油糀を使った「カボチャの発酵ポタージュ」や「ほろほろ発酵ボロネーゼ」など計5品を作り、講座1で作った糀の出来具合を話しながら、料理をおいしくいただいていた。






大鰐町「大鰐町成人大学教養講座『デジタルは怖くない』【令和5年11月22日(水)】

「デジタルは怖くない～皆さんの身近にあるデジタルの存在～」をテーマに大鰐町成人大学教養講座が開催され、町内から16名のお年寄りの方々に参加しました。

町役場の総務課からDX推進担当の三浦主査を講師に招き、「日本のデジタル化の推進」について講義が行われました。



講義の中で、81歳でスマホアプリを開発した参加者と同世代の若宮正子さんの取組について紹介したことで、「年だからと言わないで挑戦してみたい。」「自分でやろうとしないといけない。」と、講義後にはデジタルに対し前向きになっている様子が伺えました。

田舎館村「ヒカリノアゼミチ点灯式【令和5年10月10日(火)】

田舎館村の恒例となった「ヒカリノアゼミチ」に先駆け、イルミネーション点灯式が開催され、村内外からたくさんの方々が見物に来られました。鈴木孝雄村長とりんご娘がスイッチを押すと、鮮やかな「光の玉」が輝き、参加者から「すごい、ステキ!」と感嘆の声が溢れていました。

「光の玉」は、村内の園児や小中学生によって作られており、自分が作った玉がきれいに輝く様子を見て、満面の笑顔で喜んでいる園児がいました。また、中学生による手作りの看板がツリー付近に設置されるなど、館内は手作り感満載の温かい雰囲気に包まれていました。

※ 事業の日付は、訪問した日です。